第３回南アルプス市まち･ひと･しごと創生審議会　議事録

日　時：令和6年 12 月 6 日（金）午後 10 時00分～
場　所：本庁舎３階　大会議室

出席者：12 名
欠席者：10 名
事務局：（依田総合政策部長、深澤政策推進課長、他４名）

（次 第）
1. 開　　会
2. 会長あいさつ
3. 部長あいさつ
4. 議　　事
　① デジタル田園都市国家構想の実現に向けた
　　第3期まち･ひと･しごと創生総合戦略（素案）について
5. 第３回グループワーク
6. そ の 他
7. 閉　　会

（配布資料）
【資　料　1】デジタル田園都市国家構想の実現に向けた
　　第3期南アルプス市まち･ひと･しごと創生総合戦略（素案）
【資　料　2】第3回グループワーク（概要）について
【参考資料】第3次南アルプス市総合計画（抜粋）

1. 開　　会

司　　会：定刻となったので、令和6年度第3回南アルプス市まち・ひと・しごと創生審議会を開会する。

この度、野中國幹議員、櫻田力議員、有野一成議員は、11月27日をもって市議会議員として任期を終了し、同時に本審議会委員としての任期も終了となった。また、先般の市議会議員選挙において、あらためて議員となられた飯野久議員、戸栗淳議員、小池伸吾議員には、引き続き本審議会委員としての参画をお願いし、ご快諾いただくこととなった。なお、任期終了となった3名分の補充はせず、22名で第3期市総合戦略の策定まで進めていくので、よろしくお願いする。

2. 会長あいさつ

会　　長：おはようございます。12月に入り、年末に向けて忙しい中、第3回南アルプス市まち・ひと・しごと創生審議会にお集まりいただき、感謝申し上げる。先日、日本で初めての子どもの権利条約を具現化した川崎市子ども夢パークの西野理事長とお話をする機会があった。その理事長によると、計画策定の過程が一番楽しかったとのこと。本日もグループワーク等予定されているが、私たちも楽しみながら、そして、自身も暮らしやすい南アルプス市を目指しながら忌憚のないご意見をいただけたらと思う。本日もよろしくお願いする。

3. 部長あいさつ

部　　長：委員の皆様、本日は公私ともにお忙しい中、第3回審議会にご出席賜り、御礼を申し上げる。さて、現在、第3次南アルプス市総合計画の策定を進めており、この12月議会に上程したところである。承認をいただければ、令和7年から令和16年までの10年間にわたる南アルプス市の道しるべが定められることとなる。その計画と並ぶ「まち・ひと・しごと創生総合戦略」は、戦略的に人口を増やしていくための道しるべとなる計画である。

前回の第2回審議会においては、皆様の専門的な見地と積極的なご参加により、大変意義深い議論が交わされたと感じている。皆様からいただいた意見は、本日「第3期まち・ひと・しごと創生総合戦略」の素案としてまとめたので報告させていただく。また、グループワークでは、地域ビジョン（目指す姿）の方向性について、再度議論いただく予定である。

「第3期まち・ひと・しごと創生総合戦略」は、地域の実情に即し、実効性の高い計画を策定していきたいと考えているので、引き続き忌憚のないご意見を賜るようお願いし、私からの挨拶とする。

本日もよろしくお願いする。

4. 議　　事

司　　会：議長は、軽部会長。副会長は、小林副会長にお願いする。

軽 部 会 長：次第に沿って進める。議題①について、事務局より説明を求める。

①デジタル田園都市国家構想の実現に向けた
　第3期まち・ひと・しごと創生総合戦略（素案）について
　（【資料1】に基づき、事務局から説明）

軽 部 会 長：事務局より説明があったことについて、質疑等はあるか。

飯 野 委 員：13P（1）基本的方向の一行目について、質問。
「第1次産業を始め、第2次産業や第3次産業が大きく成長している」と記載されているが、果たして第1次産業は大きく成長しているのだろうか。ここの捉え方次第で後ろの記載内容も変わってくると考えるが、いかがか。

事　務　局：記載内容を訂正させていただく。
第3次市総合計画では、市町村民経済計算報告をもとに「第1次産業は減少傾向から増加に転じている」と記載されている。同様の記載とさせていただく。

軽 部 会 長：他質疑等はあるか。今後もブラッシュアップしていくとのことなので、適宜事務局へご報告願う。

事　務　局：すぐにご意見をいただくことは難しいと考えている。今後、ご意見等あれば事務局までご連絡いただき、また反映した内容については、後日ご報告させていただければと思う。引き続き、積極的なご意見をお願いする。

5. 第3回グループワーク

司　　会：第3回グループワークについて、事務局より説明を求める。
（【資料2】に基づき、事務局から説明。）

司　　会：非常に盛り上がり、我々もいろいろな角度から意見を聞くことが出来た。
あらためて案を作成し、ご報告させていただく。

6. そ の 他

司　　会：7. その他として、意見はあるか。

事　務　局：次回の審議会は、1月24日（金）14時を予定している。
内容としては、これまでの4グループではなく、「産官学金労言」や「まち・ひと・しごと」などでグループを分けて協議することを検討している。
また、年度当初、計4回の審議会と案内してきたところだが、計5回の審議会とし、最終を2月中下旬を目標に進めていきたいと考えている。
早めに日程調整等し、多くの方にご出席いただきたいと考えているので、引き続きご協力をお願いする。

7. 閉　　会

小林副会長：皆様、お忙しい中、お集まりいただき、スムーズな審議に感謝申し上げる。
本日、事務局から説明のあった素案に関しては、ご意見があれば事務局までご提案願う。また、グループワークで得た意見をもとに素案を修正するとのことなので、確認の際には、引き続きご協力をお願いしたいと思う。本日は、これで閉会とする。

以上